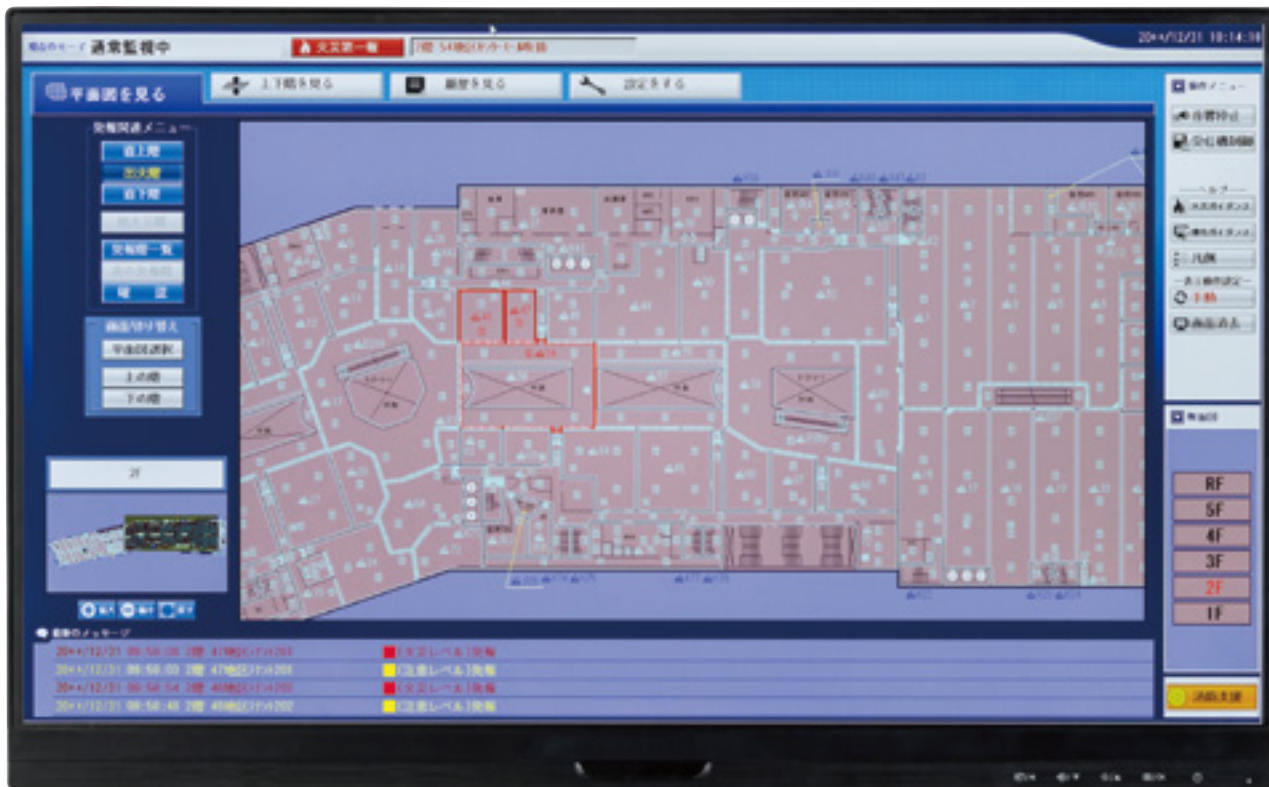


# 防災表示装置HDSカタログ



表示は**見やすく**、操作は**かんたん**、人に**やさしい**、

## HOCHIKI DISPLAY SYSTEM



自立盤組込型



OA卓組込型

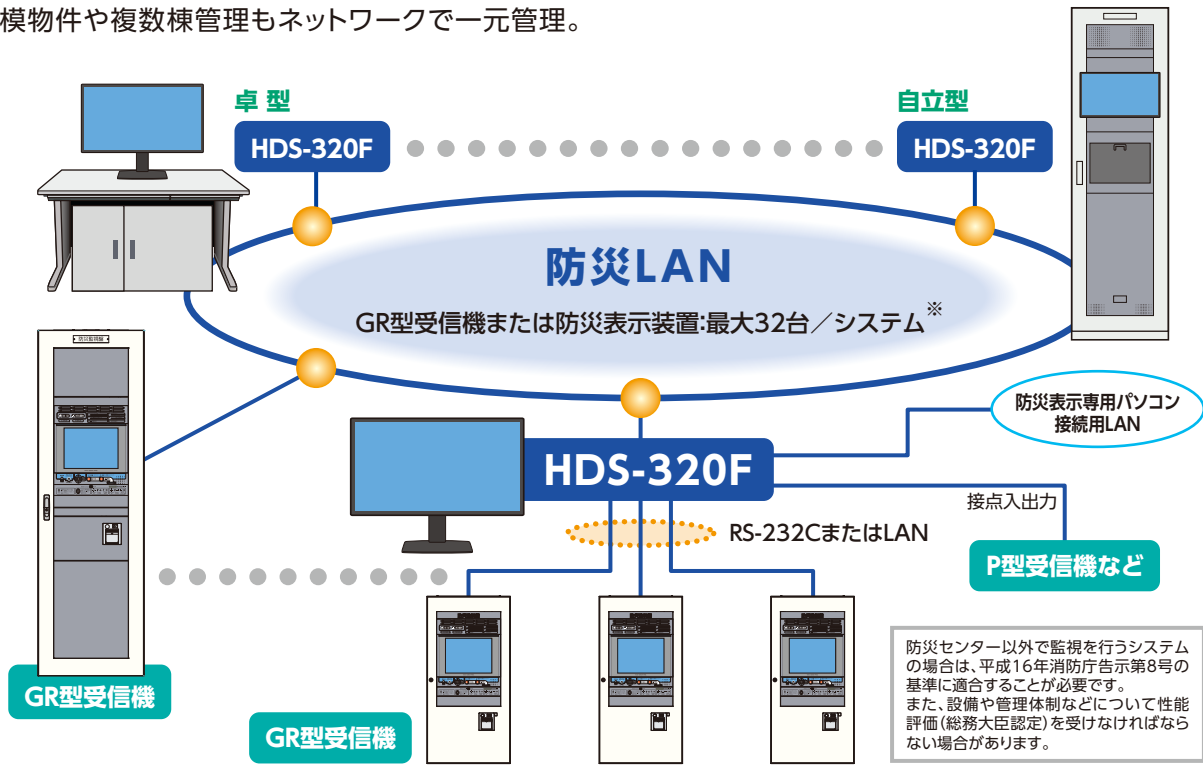
防災システムの大型化や複雑化などにもない、防災センターには、膨大な防災情報が集中します。そんな防災センターで24時間対応する方々のために、見やすさと使いやすさを追求した人にやさしい防災表示装置です。

**PREDIC-311F/320F 総合盤第037号**  
 (令和6年10月28日認定取得)

**PREDIC-310F/510F 総合盤第036号**  
 (平成27年1月27日認定取得)

### ネットワークで防災LANを構築する。

大規模物件や複数棟管理もネットワークで一元管理。



※HDS-320FとGR型受信機をRS-232Cで接続する場合は、全体のHDS接続台数に制限があります。

表示解像度は1,280×1,024ドット、表示色数は最大1,677万色。1,920×1,080ドット[フルHD]のワイド液晶にも対応しています。 ※メーカー各社の液晶モニターの仕様によりフルHD表示ができない場合もあります。(詳細はお問い合わせください。)

#### A 画面切り替え用タブ

画面切り替え時に使用するタブは大きなボタンで上部に集約。「平面図を見る」「上下階を見る」「履歴を見る」「設定をする」というわかりやすい言葉を使用し、使う人の立場にたった表現にしています。

#### B 発報関連メニュー

火災発生時に使用するボタンを発報関連メニューとして画面左上に集約。出火階や直上階の確認を素早く行えます。

#### C 画面切り替えメニュー

監視区域全体を表示する平面図選択画面から、表示したいフロアの平面図を選択できます。

#### D キープランエリア

キープランエリアでは、平面図エリアで表示されている部分を反転表示します。この反転表示している部分をマウスで操作することにより、スムーズな画面スクロールが可能です。

#### E システム操作エリア

すべての画面に共通する操作や基本操作を行うためのボタンが配置されています。音響停止ボタンや受信機制御ボタンなどが、使いやすいように常時画面に表示されています。

#### F 断面キープランエリア

建物の断面図を表示して、階ごとの火災の状況を表示するエリアです。クリックすると、選んだ階の平面図を表示します。

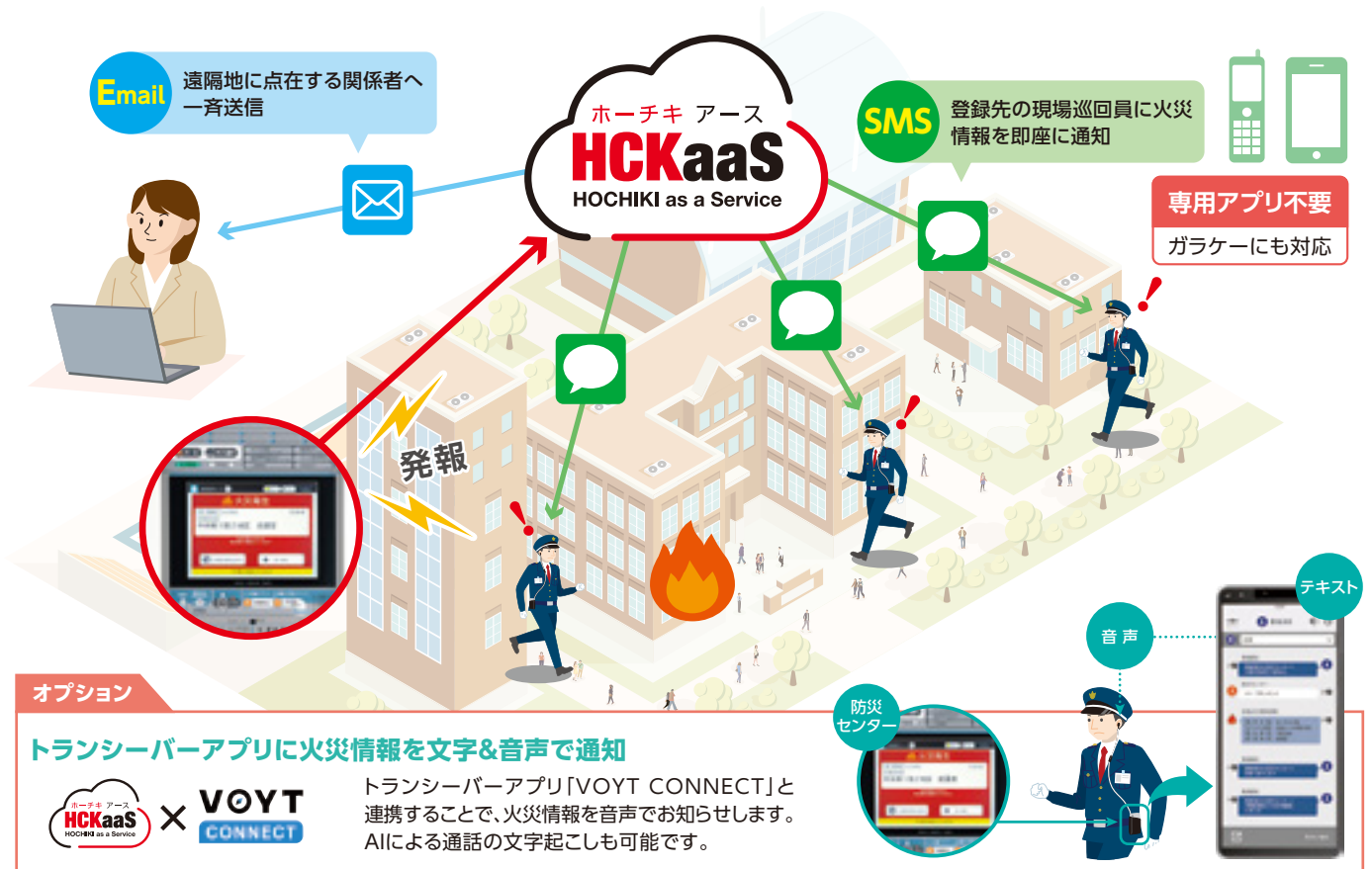


### HDS-320FにLTEルーターをLAN接続することで 防災クラウドサービス「HCKaaS」の利用が可能

- HDS-320FまたはプロトコルコンバーターにLTEルーターをLAN接続することで「HCKaaS」の利用が可能となります。
- プロトコルコンバーターは、GR型受信機を防災クラウドサービス「HCKaaS」に接続対応するための装置です。



### 「火災情報」をクラウドで管理



### いざという時に、火災発生時の発報情報を瞬時にイメージ

#### 火災 第一報

火災第一報の確認後、「上下階を見る」のボタンを押します。



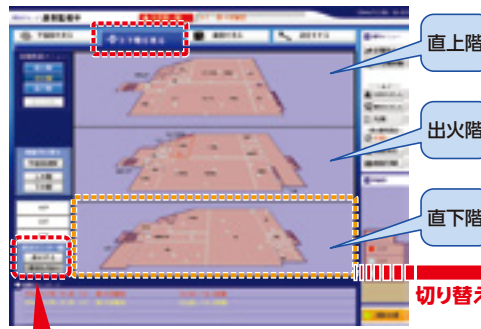
#### 確認1

出火階・直上階・直下階の状況を瞬時にイメージ化、迅速な避難誘導が可能です。



#### 確認2

火災発生時、防災センター要員が防災センターと火災現場の位置関係を把握するために、「直下階」表示を「防災センター階」に切り替えられます。



直上階

出火階

直下階

切り替え

#### 防災センター階



画面左下の「防災センター階/表示する」ボタンを選択すると直下階表示が防災センターがある階に切り替わり、出火場所の位置関係を把握しやすくなります。

例えば、複合商業施設や総合病院、高層ビルなどの防災センターに！

### 複雑な部分は大きく・見やすく

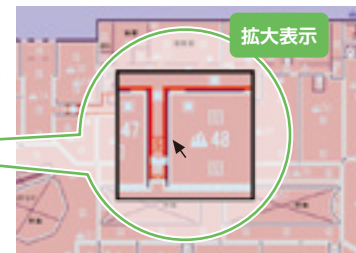
複数のシンボルから1つを間違えることなく容易に選べるように、マウスカーソルをシンボル付近に合わせると、自動的にシンボル付近を拡大表示する機能を搭載しています。

#### 火災発生

シンボルが密集する階段付近などの防火戸を遠隔起動する場合にもおすすめです。



シンボルが密集していて見づらい。



拡大表示

カーソルを制御したいシンボルの付近に合わせると拡大表示され、シンボルが選びやすくなります。

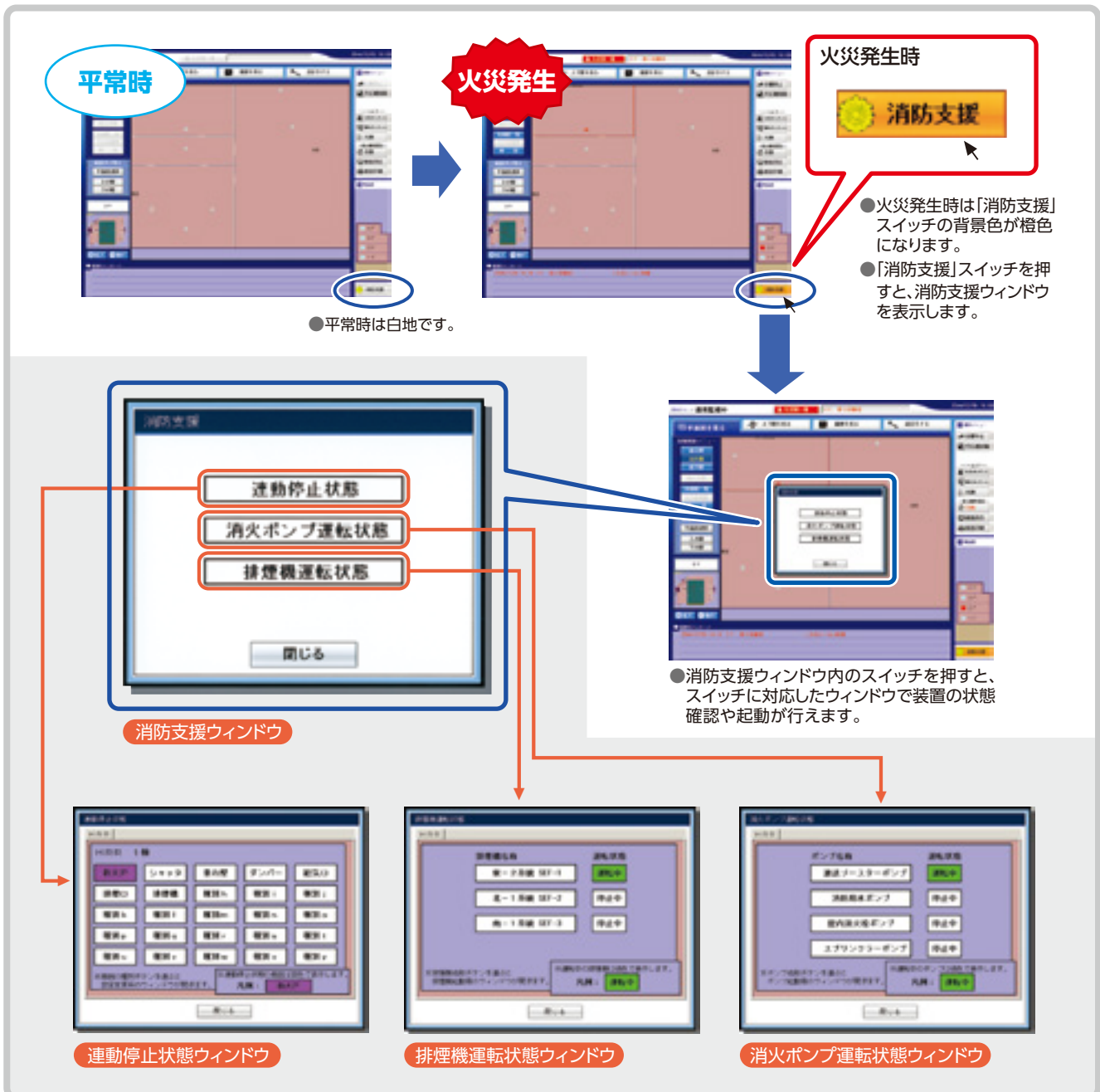
マウスカーソルを見たいところに合わせると拡大表示が可能！

### 総合操作盤の消防隊活動時における表示・操作性の強化

消防隊が緊急対応の際、「かんたん」に「使いやすく」操作できるよう、「消防支援」スイッチを実装しています。関係設備の「連動停止状態」や「消火ポンプ運転状態」、「排煙機運転状態」を素早く確認することが可能です。

#### 総合操作盤の消防支援に係る技術基準

<p>(消防支援スイッチの機能)</p>	<p>第4条</p>	<p>消防支援スイッチの表示・操作及び機能は、次に定めるところによる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防支援スイッチは、総合操作盤の画面内に常時表示し、容易に操作することができること。</li> <li>(2) 消防支援スイッチには消防章マーク(黄色)を入れ、黒文字で「消防支援」とすること。</li> <li>(3) 火災表示時には、消防支援スイッチの地色がオレンジ色に変化し点灯するものとする。</li> <li>(4) 消防支援スイッチが押された場合、次のスイッチを上から順に表示すること。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「連動停止状態」または「連動遮断状態」</li> <li>・「消火ポンプ運転状態」</li> <li>・「排煙機運転状態」</li> <li>・(予備)</li> </ul> </li> </ol> <p>当該設備が設置されていない場合は、当該スイッチ(予備含む)を表示しないものとする。</p>
----------------------	------------	--



### Q 「総合操作盤」って何ですか？

**A** 防火対象物となる建物は、ますます大規模化・複雑化し、建物の実状に即した総合的な防火安全対策を講じる必要があります。

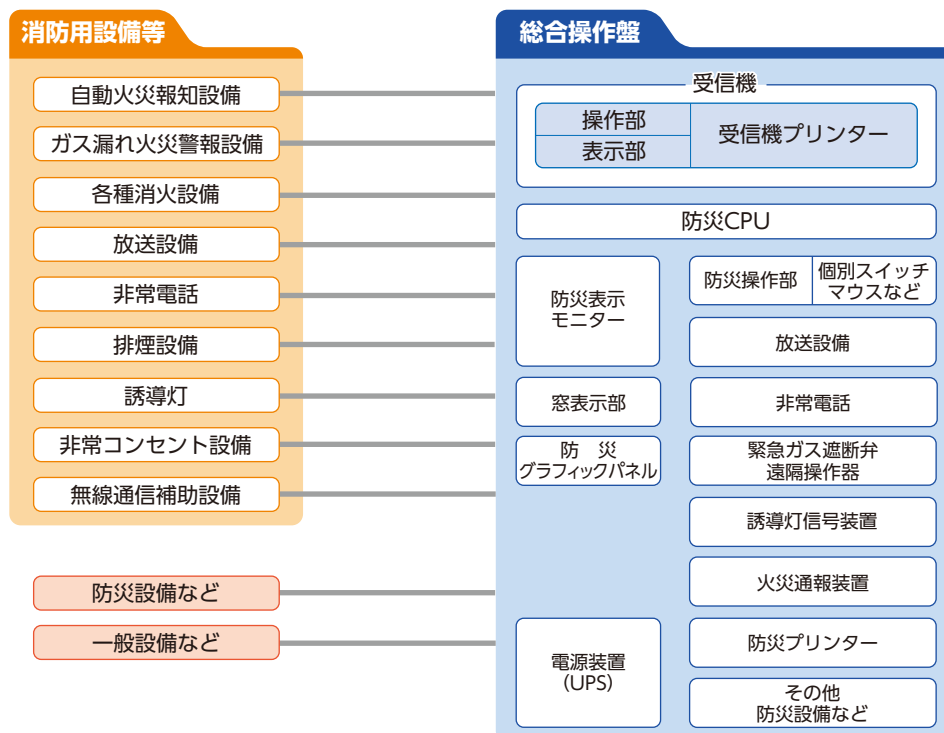
総合操作盤はこのような環境を踏まえ、「複数の消防用設備等に係わる監視、操作等により、防火対象物全体における火災の発生、火災の拡大状況などを把握できる機能を始めとする総合的な管理機能を有するもの」として、一定規模以上の防火対象物には設置が義務づけられています。

関連法規		内容
平成8年2月16日	自治省令第2号	消防庁長官が定める要件に該当するものに設置される消防用設備等には、当該設備に係わる監視、操作等を行うことのできる操作盤を設置することとする消防法施行規則の一部を改正する省令。
平成9年3月21日	消防庁告示第1号	消防設備に係わる操作盤を設ける防火対象物の要件を定める告示。
	消防庁告示第2号	操作盤の基準を定める告示 操作盤の構造、機能、表示機能、警報機能及び操作機能について規定。
	消防庁告示第3号	操作盤の設置免除の要件を定める告示 関係用語の定義、操作盤の設置免除、総合操作盤が設置されていれば操作盤が免除されること、遠隔監視の場合の設置免除等の基準等を規定している。
平成9年3月21日	消防庁予防課長通知 消防予第50号	消防用設備等に係わる操作盤を設ける防火対象物の要件、操作盤の基準及び操作盤の設置免除の要件を定める告示の制定に関する運用について。
平成9年7月29日	消防庁予防課長通知 消防予第127号	操作盤及び総合操作盤の評価等について この通知により評価が財団法人日本消防設備安全センターで行われることとなった。
平成9年7月29日	消安セ規程第11号	総合操作盤等評価規定の制定
平成16年5月31日	総務省令第93号	消防法施行規則の一部を改正
	消防庁告示7号	総合操作盤の基準及び構造、表示、警報、操作機能、情報伝達機能、支援機能を定める告示
	消防庁告示8号	総合操作盤における関係用語の定義。監視体制に対する要件を定める告示

### Q 「総合操作盤の基本型」って何ですか？

**A** 基本型とは、総合操作盤について組み合わせとして想定できる機能などを網羅したものをいいます。

基本型評価とは、基本型が総合操作盤に係わる告示基準に適合するか否かを評価することをいいます。



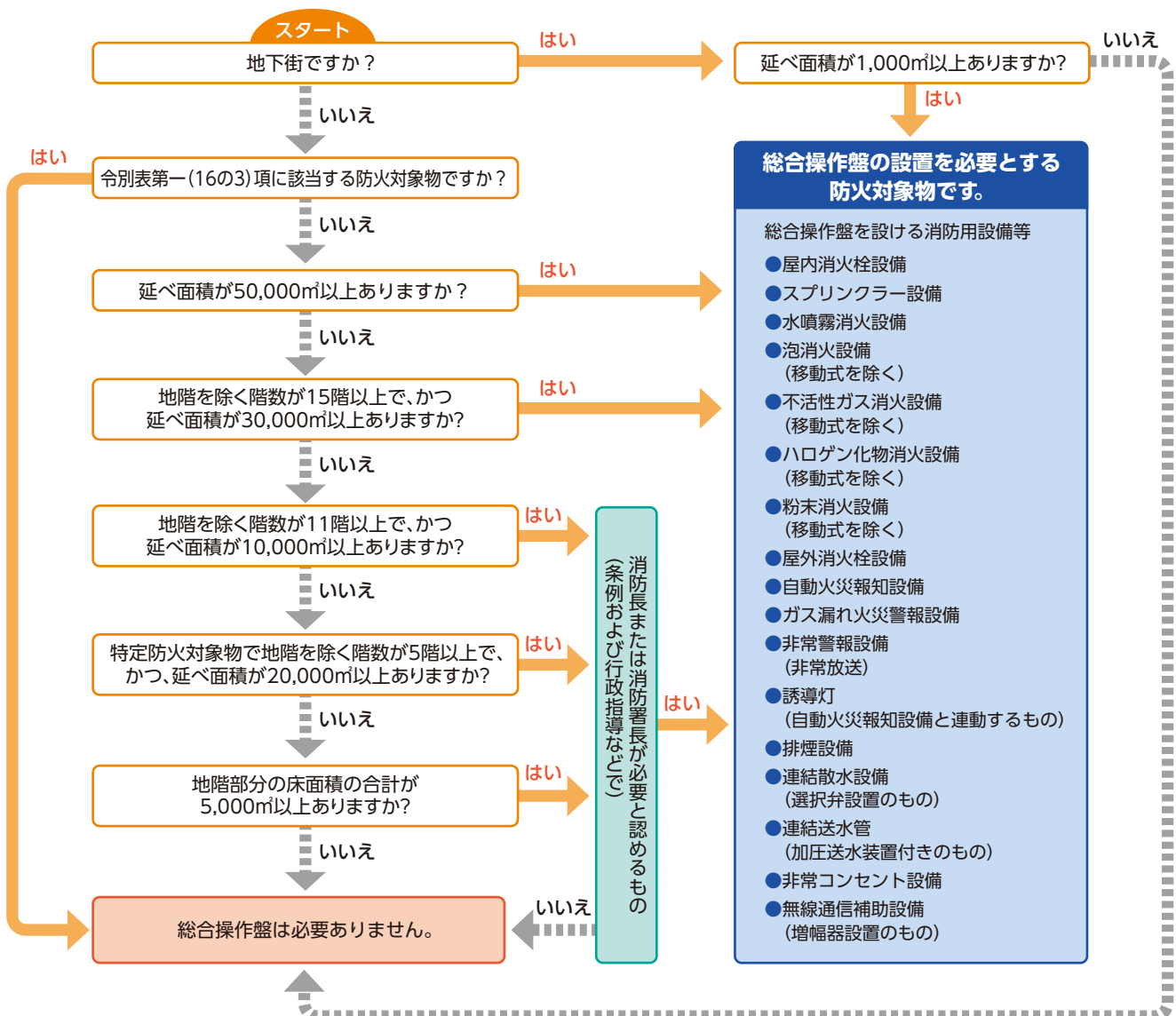
### Q 「総合操作盤の主な機能」を教えてください

A 総合操作盤に要求される機能、または設ける場合の機能の主な内容は以下の通りです。  
(消防庁告示第7号より抜粋)

表示機能	表示は、グラフィック表示、CRT表示、液晶表示等による明瞭でわかりやすい方法とすること。
警報機能	警報は、警報音又は音声警報により行うこと。警報音は、他の音響又は騒音と区別できること。
操作機能	操作方法は、わかりやすく適切な方法となっていること。遠隔スイッチには、誤操作を防止する措置がしてあること。
情報伝達機能	館内の利用者及び自衛消防隊員に対する情報伝達機能。中央管理室の管理要員及び消防機関との専用情報伝達機能。
制御機能	制御方式は、消防用設備等の数及びシステム機能に応じた適切な構成とし、部品の異常または故障が全体機能の障害につながらないものが選択されていること。
記録機能	作動及び異常が発生した設備の種別、日時、場所及び内容を逐次速やかに印字できること等。
消防活動支援機能	消防隊への情報提供（CRT等に火災発生階等の平面図がわかりやすく表示される）が円滑に行えること。
運用管理支援機能	シミュレーション機能、ガイダンス機能、履歴機能、自己診断機能。
維持管理機能	表示及び記録する機能の点検が容易に行えること。構成部品は保守点検及び修理の際に容易に交換できること。電源供給の異常を監視する機能があること。ソフトウェアの変更に関して管理ができる措置を講じること。

### 総合操作盤チェックシート

■設置を予定している建物が次の規模に該当するか、順にチェックします。



# 防災表示装置 HDS-320F/510Fは総合操作盤の技術基準に適合しています

## 総合操作盤 設置例

(一社)日本火災報知機工業会の自主基準※1では、防災センター内に配置されている盤の銘板の表示名称、表示方法、盤配置を統一することが求められています。

### ※1: 総合操作盤の消防支援に係る技術基準

(盤名称銘板の表示仕様)	第5条	<p>総合操作盤を自立盤で構成する場合には、盤名称は次に定めるところによることとし、白地に赤文字の盤名称銘板を取り付けること。ただし、操作卓形式のものについてはこの限りではない。</p> <p>なお原則として、混在して1つの盤に収納する場合は、次に定める順に優先して表記すること。</p> <p>①総合操作盤のCRT等を収納している盤 → [防災表示盤]                  ②火災受信機を収納している盤 → [火災受信盤]                  ③非常電話操作部を収納している盤 → [非常電話盤]                  ④非常放送操作部を収納している盤 → [非常放送盤]</p> <p>(注1) その他の盤名称については適宜決定し、上記以外の盤名称銘板については原則赤文字とはしないこと。                  (注2) ①～④の盤において表示・操作部と制御部が分離している場合、表示・操作部を収納していない盤には上記名称は使用しないこと。</p>
(総合操作盤の配置)	第6条	<p>総合操作盤を自立型で構成する場合には、表示・操作性を考慮して、まとめて配置することを原則とし、次に定める盤を左から順に配置すること。</p> <p>①非常電話盤 ②火災受信盤                  ③防災表示盤 ④非常放送盤</p> <p>上記以外に総合操作盤を構成する盤がある場合は、上記の近傍に配置するものとする。</p>

## スペック

種別	防災表示装置	
商品記号	HDS-320F	HDS-510F
型式記号	PREDIC-311F/320F	PREDIC-310F/510F
型式番号	総合盤第037号	総合盤第036号
表示	モニター	21.5型ワイド液晶(標準) / 17型または19型 TFTカラー液晶(標準)
	モニター接続台数	1台/ユニット
	最大画面枚数	500枚(ただし、メニュー画面・断面キープラン含む)
	画面変化点数	4,096点/枚
	表示色	最大1,677万色
	表示解像度	1,280×1,024ドット(SXGA)、1,920×1,080ドット(フルHD)
	拡大表示	無段階拡大表示最大4倍相当まで(スクロール機能付き)、表示倍率を初期表示状態へリセット可能 / 2倍、4倍(スクロール機能付き)、全体表示機能
	分割表示	基本階(出火階)、直上階、直下階、あるいは防災センター階
	表示文字	英数字、漢字、カタカナ、ひらがな、記号、外字(シンボル)
	表示画素	システムフォント、TrueTypeフォント
入出力	メッセージ数	フォーマット : 日時、メッセージ、イベント名称 メッセージ数 : 制限なし 文字数 : 半角80文字分(全角40文字分) 火災第一報文字数: 半角32文字分(全角16文字分)
	接続対象受信機	HRH、HRI、HRK、HRN、HRO(CHVⅢ)、HRU(CMA)、HRR(ただし、HRNとHROは、シリアル移報ユニットまたはイーサネット実装時)
	接続可能台数	最大32台/システム
	R型入力点数	300,000点
	R型出力点数	100,000点
P型入力点数	オプションにより最大2,048点まで拡張可能	
P型出力点数	オプションにより最大112点まで拡張可能	
親時計入力	有電圧入力	

機能	●消防活動支援機能	
	●記録機能	
機能	●シミュレーション機能(オプション): 受信機シミュレーション、ソフトウェアシミュレーション	
	●ガイダンス機能: 静止画、動画、音声による各種ガイダンス	
機能	●履歴機能: 50,000件	
	●履歴解析機能: 検索、集計、保存(CSV形式で保存、USBメモリーで取り出し)、印刷(ページプリンター接続時)	
機能	●簡易データ編集: メンテナンスモード、または施工モード時	
操作	マウス制御方式	
ラインプリンター	印字方式	インパクトドットマトリクス方式
	印字文字種類	英数字、漢字、カタカナ、ひらがな、記号
	印字色	黒色
	入カインターフェース	シリアル/パラレル
ページプリンター	電源	AC100V±10%、50/60Hz
	印字方式	半導体レーザービーム走査+乾式二成分電子写真方式
	入カインターフェース	USB
ページプリンター	用紙サイズ	A3/A4
	電源	AC100V±10%、50/60Hz
環境条件	使用温度範囲: -5℃~40℃ 使用湿度範囲: 30%~80%(結露なきこと)	
表示機能	表示機能	平面図を見る 履歴を見る
	制御機能	なし
主電源	AC100V ±10% 50/60Hz	
最大消費電力	67VA / 38VA	
UPS	0.7KVA	

●商品の仕様や外観などは、品質改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●商品やモニター画面などの色彩は、実物の色彩と多少異なる場合がありますのでご了承ください。

販売店/お問い合わせ

# ホーチキ株式会社

お客様ご相談窓口 0120-919-856

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝祭日、および弊社休業日を除く)

事業所・グループ会社一覧

<https://www.hochiki.co.jp/corporation/map/>

